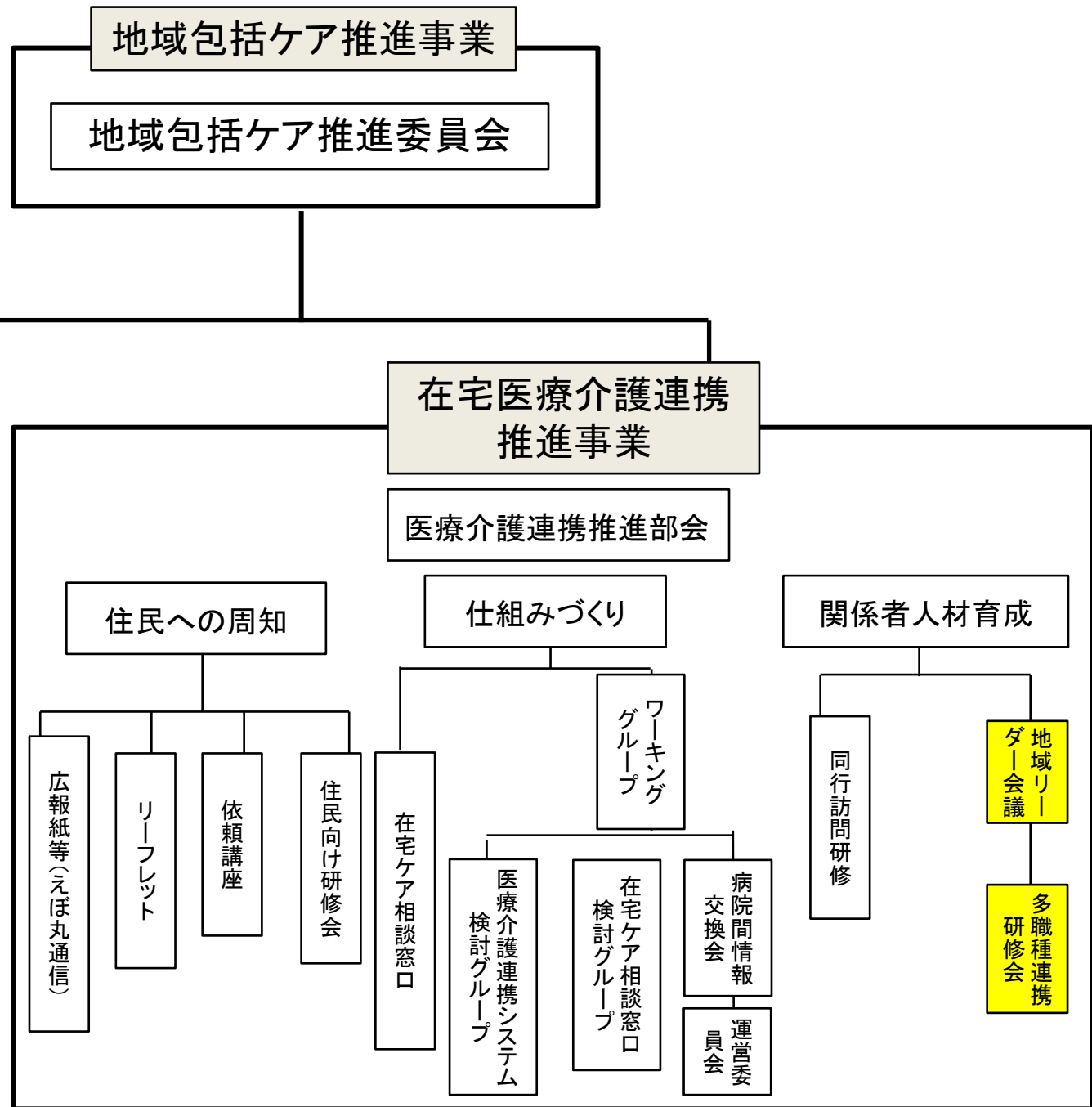


# 地域リーダー会議 多職種連携研修会 ～取組み状況～



地域リーダー会議  
多職種連携研修会の  
位置づけ



# 地域リーダー会議

## 平成30年度の課題及び検討事項

- ① 多職種連携研修会の企画等を行う。
- ② 主に在宅チーム医療人材育成事業地域リーダー会議を受講した専門職を中心に検討を行う。

# リーダーメンバー（敬称略）



氏名	所属機関	職種
富田一郎	茅ヶ崎医師会	医師
大木教久	茅ヶ崎医師会	医師
菅原一朗	茅ヶ崎医師会	医師
松井新吾	茅ヶ崎歯科医師会	歯科医師
芦刈典子	茅ヶ崎寒川薬剤師会	薬剤師
神田真理恵	茅ヶ崎地区訪問看護ステーション	看護師
菊池みのり	寒川神社寒川病院	看護師
平本哲也	茅ヶ崎介護サービス事業者連絡協議会	ケアマネ
葛西聖子	茅ヶ崎市立病院地域連携室	看護師
吉武泉	市高齢福祉介護課	保健師
大西真衣	町健康・スポーツ課	保健師

# 平成30年度地域リーダー一会議 開催実績

回数	日程	出席者人数
第1回	5月17日	10人
第2回	8月2日	11人
第3回	11月1日	11人
第4回	3月7日	

# 多職種連携研修会の実績

回	年月	テーマ	受講人数
1	H26年6月	明日からできる訪問診療(在宅医療)について考えてみませんか？	219人
2	9月	在宅で生活している認知症の方を支える多職種連携	292人
3	11月	自分らしく過ごせるよう支援する在宅緩和ケア	269人
4	H27年2月	摂食嚥下と栄養の実際	232人
5	7月	地域包括ケアシステムってなに？	260人
6	9月	在宅での褥瘡ケア	287人
7	11月	排便コントロール	227人
8	H28年2月	独居高齢者への支援 PART1～今、地域で何が起きているのか～	249人
9	6月	独居高齢者への支援 PART2～本人の希望をどのように支えるか 事例検討編～	145人 人数制限あり
10	9月	判断能力が低下した高齢者を支えるために	235人
11	11月	在宅での看取りを考える PART1～多職種で看取りを支えた事例を通して～	268人
12	H29年2月	在宅での看取りを考える PART2～看取りのあり方に揺れ動いている事例を 通して～	153人
13	9月	地域包括ケアシステムと在宅ケア相談窓口について	201人
14	11月	在宅ケア相談窓口について語ろう♪♪～窓口への相談内容から地域における在宅ケアの課題を共有する～	154人
15	H30年2月	地域包括ケアの実践～地域の実力を知ろう～	226人



# 平成30年度多職種連携研修会チラシ

平成30年度在宅医療介護連携  
**多職種  
 連携研修会**  
 ~それぞれの役割を  
 理解して、連携の質を  
 高めよう!  
 第16回

茅ヶ崎市・寒川町 在宅医療介護連携推進事業  
 平成30年度  
**第16回多職種連携  
 研修会**  
**「痛患者の終末  
 おける連携を  
 深めるために」**  
 日時：平成30年7月12日(木)  
 場所：茅ヶ崎市役所本庁舎4階会議室  
 対象者：医療福祉介護に携わる専門職  
 座長 小林 一博 医師  
 第一部 19:20~20:00 講師 大木 教久氏  
 「痛患者の終末  
 ~病院の  
 講師  
 第二部 20:00~20:35 講師 森元 幸太郎氏  
 「痛患者  
 ~  
 講師  
**【注意事項】**  
 \*受講された方には修了証書を交付いたします。  
 \*受講するには申し込みが必要です。(申し込みは、各団体の受講者をとりますの上、別紙の受講申し込み用紙にてFAXまたはメールにてお送り下さい。)  
 \*申し込みは、各団体の受講者をとりますの上、別紙の受講申し込み用紙にてFAXまたはメールにてお送り下さい。  
**問合せ**  
 茅ヶ崎市保健所 地域保健課  
 電話：0467-38-3319  
 FAX：0467-82-0501  
 メール：hokenjyo\_chiikihoken@city.chigasaki.kanagawa.jp

茅ヶ崎市・寒川町 在宅医療介護連携推進事業  
 平成30年度  
**第17回多職種連携研修会**  
**「それぞれの役割を理解して、  
 連携の質を高めよう」**  
**「自分  
 知って  
 もらおう」**  
 日時：平成30年10月18日(木) 19:15~21:00  
 場所：茅ヶ崎市役所本庁舎4階会議室1~5  
 対象者：医療福祉介護に携わる専門職の方々(ハル\*や通所スタッフも含む)  
**目的**  
 平成29年度多職種連携研修会のアンケートの中に「他の専門職が何をしているのかが分から  
 ない」「自分以外の専門職の役割を知らない」等の意見が多く挙がっていました。多職種連  
 携を深めていくためには、まず他の専門職の役割を互いに知り合うことが必要です。そのた  
 め、今回は、薬剤師、リハビリ専門職・管理栄養士に焦点を当て、それぞれの在宅での役割  
 や活動を紹介します。他の専門職に自らの専門職としての仕事内容をアピールする機会とします。  
**第一部**  
 19:20~20:35 職種紹介  
 座長：大木 教久氏(茅ヶ崎医師会理事/大木医院院長)  
 ① 薬剤師 芦刈 典子氏(茅ヶ崎寒川薬剤師会理事/あんず薬局)  
 ② 理学療法士 森元 幸太郎氏(アールアンドシー湘南)  
 ③ 言語聴覚士 古木 志樹子氏(湘南藤沢徳洲会病院)  
 ④ 作業療法士 関口 なつき氏(湘南東部総合病院)  
 ⑤ 管理栄養士 吉野 祐子氏(松井歯科医院)  
**第二部**  
 20:35~20:55 パネルディスカッション  
**【注意事項】**  
 \*受講された方には修了証書を交付いたします。  
 \*受講するには申し込みが必要です。(申し込みは、大木の場合は先めに問い合わせ先まで必ず連絡ください)  
 \*申し込みは、各団体の受講者をとりますの上、別紙の受講申し込み用紙にてFAXまたはメールにてお送り下さい。  
**問合せ**  
 茅ヶ崎市保健所 地域保健課  
 電話：0467-38-3319  
 FAX：0467-82-0501  
 メール：hokenjyo\_chiikihoken@city.chigasaki.kanagawa.jp  
 茅ヶ崎市保健所 在宅ケア相談窓口  
 電話：0467-38-3319  
 FAX：0467-82-0501  
 メール：hokenjyo\_chiikihoken@city.chigasaki.kanagawa.jp  
 事務局：在

# 平成30年度多職種連携研修会 開催実績

「在宅医療」及び「医療と介護の連携」  
推進のため専門職を対象とした研修会

回	日程	参加者 人数	テーマ
第16回	7月12日	315人	がん患者の終末期 における連携を考える
第17回	10月18日	206人	自分の仕事を知ってもらおう♪
第18回	1月24日		がん患者の終末期緩和ケア ～多職種連携の課題を考える～

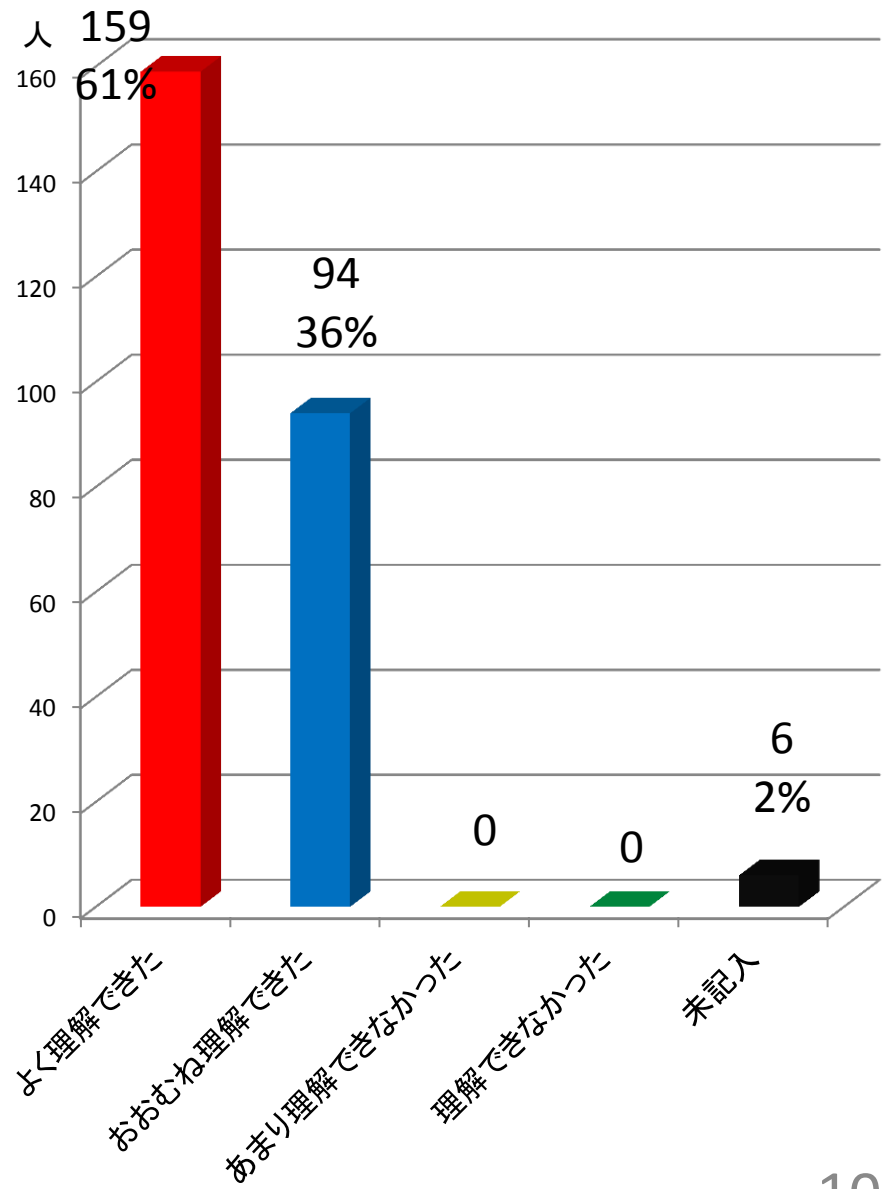
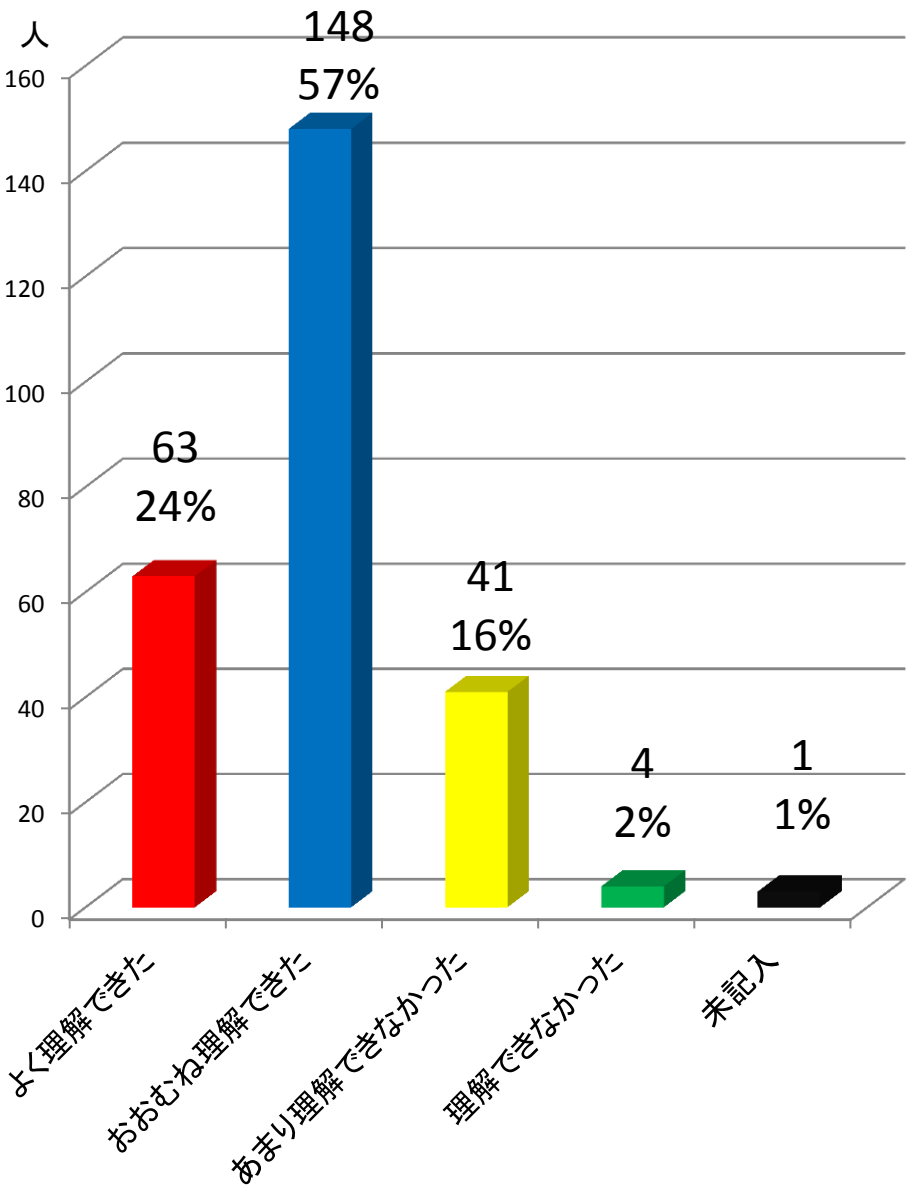


# 第16回多職種連携研修会の様子



# 「病院の視点から～(水沼医師)」の 説明内容について(理解度)

# 「在宅の視点から～(引野医師)」の 説明内容について(理解度)



# 第16回研修会 感想等

- がん治療に対する考え方、終末期医療の対応の仕方、非常に有益であった。(医師)
- 連携の意識が高まっていると感じる。(歯科医師)
- 病院と開業医の連携and訪問診療を行う医師の関係がよく分かった。(薬剤師)
- がん治療の最新事情を知ることができた。今までよりもさらにスピーディーな連携の必要性を感じた。(看護師)
- 癌の終末期に対する固定観念が変わった。意思決定支援が「結論を出させること」ではなく、「共に悩むこと」と聞いて少し気持ち楽になった。(ケアマネ)
- 在宅医療、介護の連携の重要性が理解できた。  
(介護福祉士) 等



# 第17回多職種連携研修会の様子



## 在宅医療の調剤(内服薬)



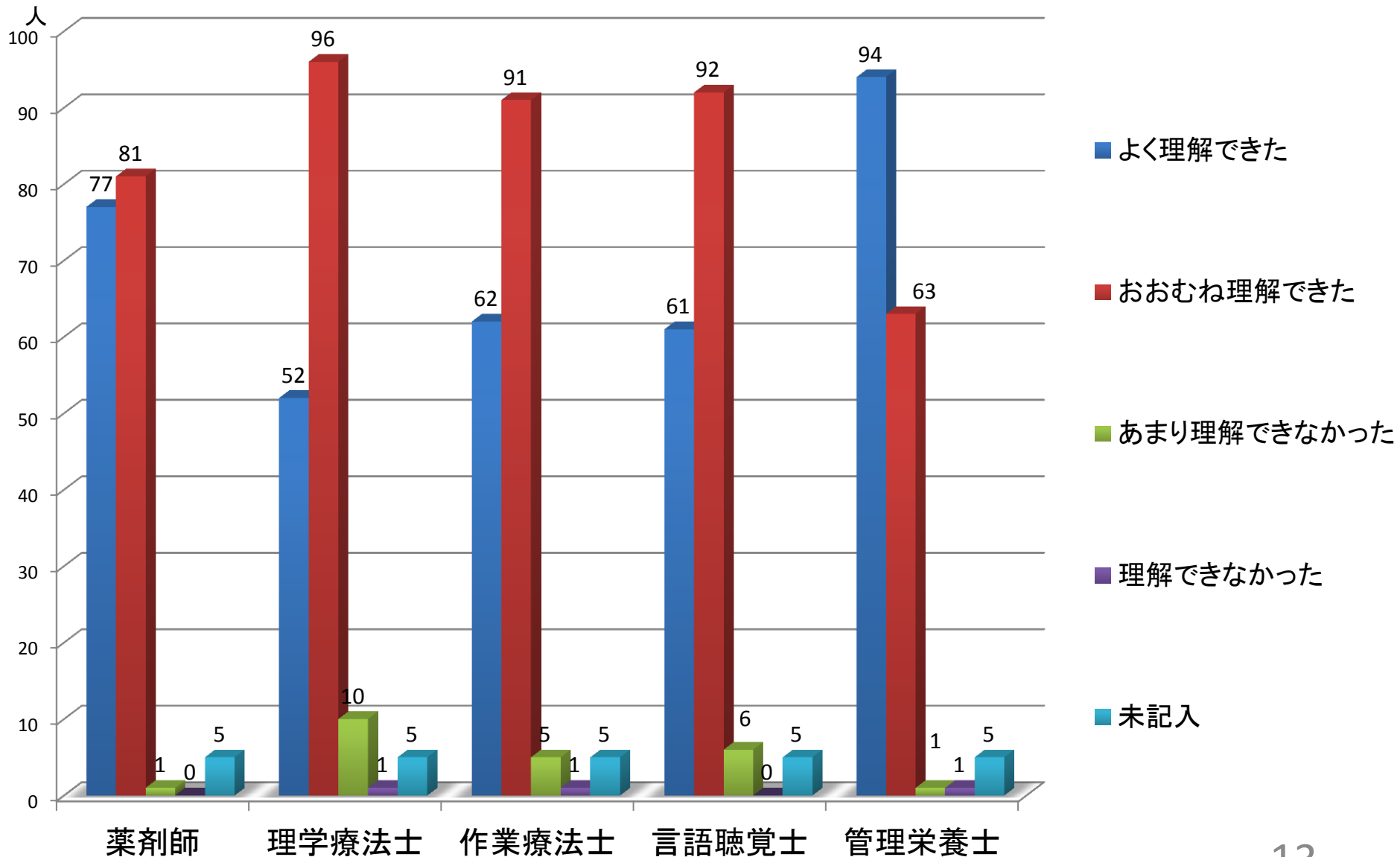
一包化(ワンドーズパッケージ)

## 心に残っている事例

### 事例1)『エビ天が食べたい』



# それぞれの発表内容について(理解度)



# 第17回研修会 感想等

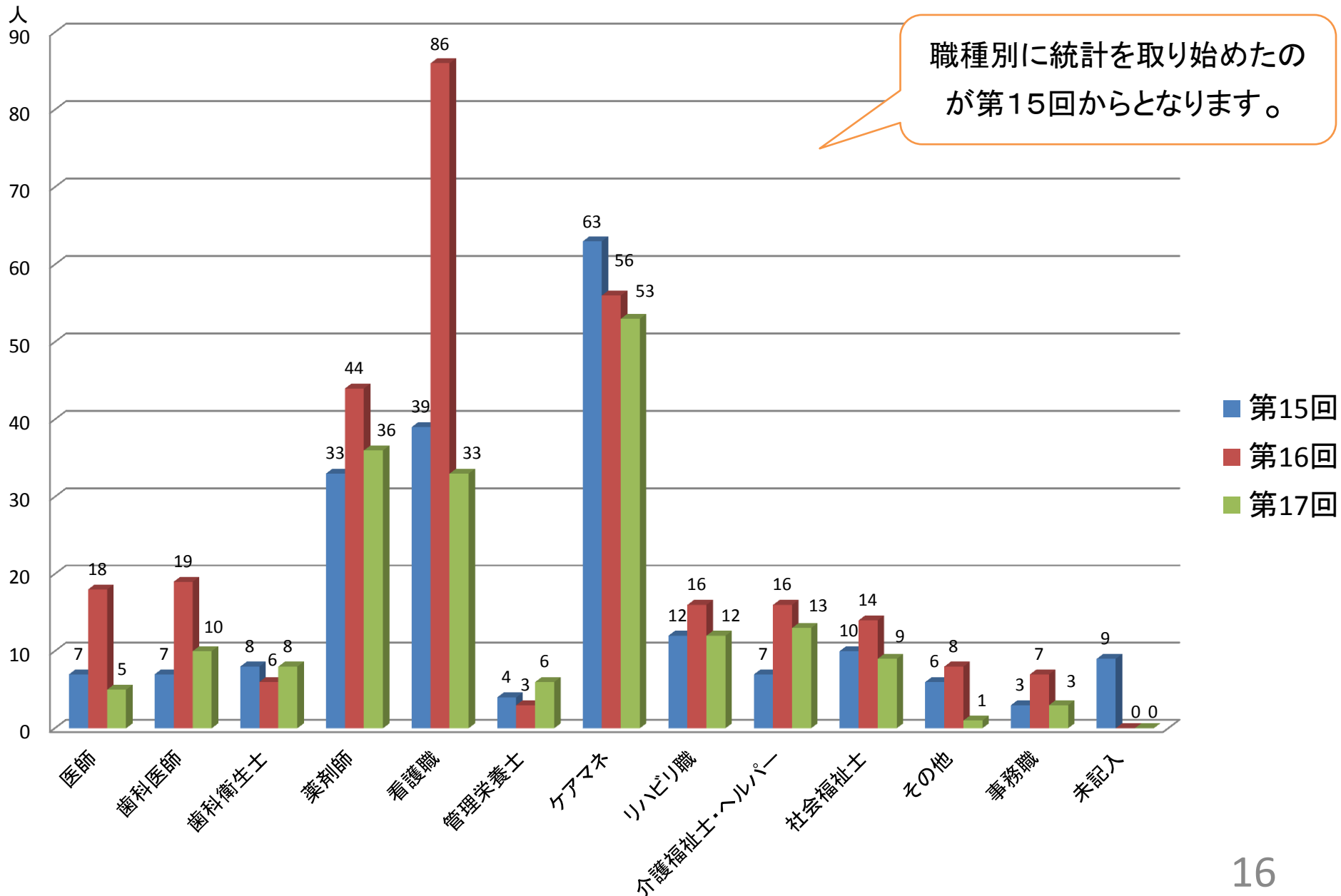
- 多職種の仕事の再認識させて頂きました。地域連携に頑張っている皆様方の力になれるよう勉強していこうと思います。(看護師)
- 連携したことのない職種の方と今後は連携してみたいと思いました。(社会福祉士)
- それぞれの職種の方々が素晴らしいお仕事をされていると思いました。(歯科医師)
- 多職種についていつも自分の職場、仕事について理解が薄いと感じていましたが、自分自身が他職種の方々への理解がなかったことに気がつかされました。(薬剤師)
- ケアマネと医療の連携は難しいイメージがありましたが、少しずつお話しやすい場が増えてくると確信しました。  
(ケアマネ) 等



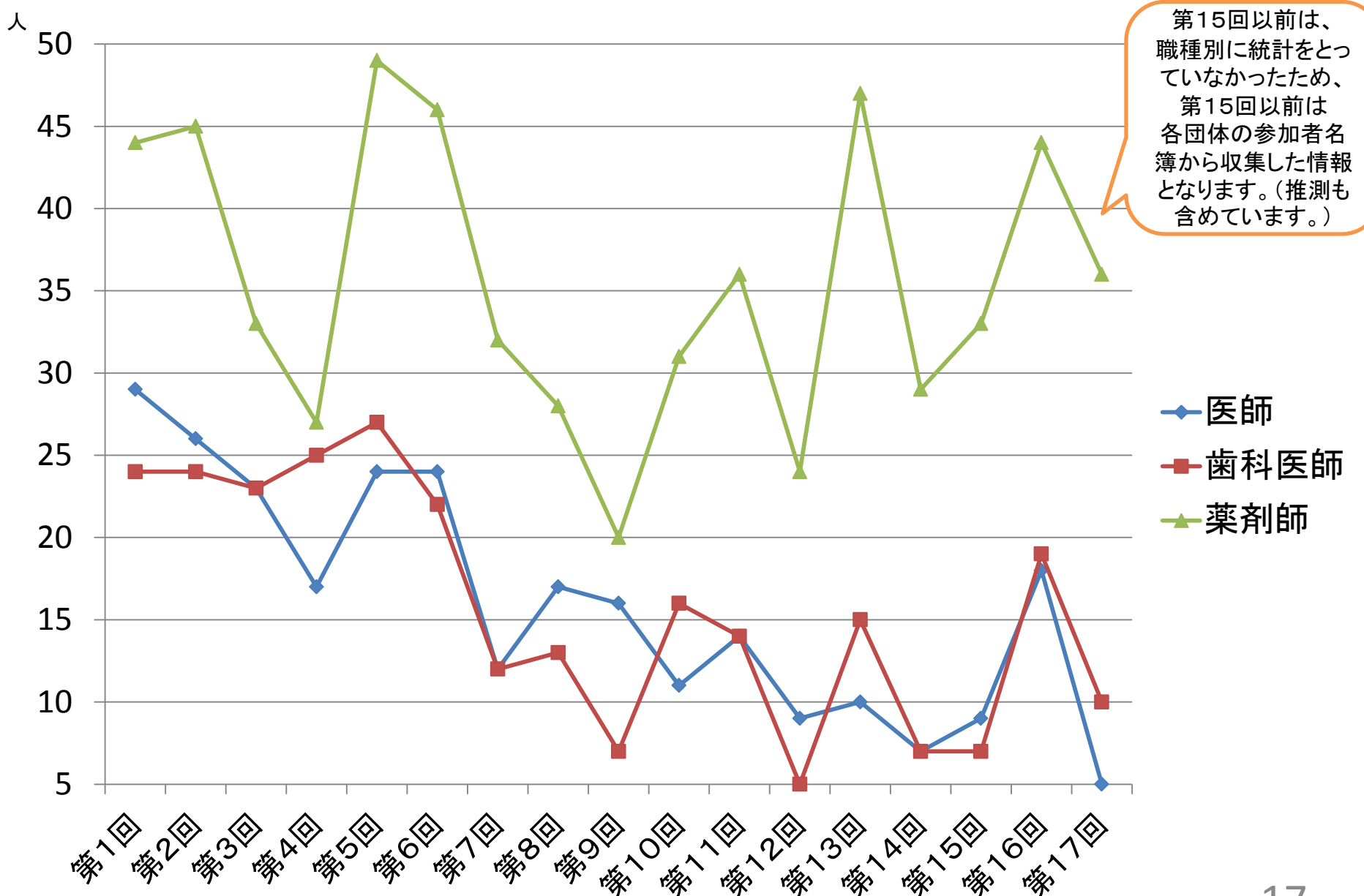
# 団体別 参加者数の推移

第	医師会	歯科医師会	薬剤師会	病院	訪問看護ステーション	茅ヶ崎サービス事業者連絡協議会	介護老人保健施設	介護支援専門員	地域包括支援センター	専門職団体・福祉団体・その他	民生委員	行政
第1回	39	24	44	17	15	25	0	17	18	0	0	20
第2回	38	24	45	12	12	67	0	54	18	0	0	22
第3回	43	26	33	21	17	41	0	48	18	0	0	22
第4回	27	30	27	31	8	27	0	30	12	11	0	29
第5回	24	27	49	25	5	29	0	51	25	0	0	25
第6回	32	27	46	13	22	57	0	45	18	5	0	22
第7回	24	12	32	10	14	56	0	47	12	0	0	20
第8回	32	13	28	16	9	15	0	52	27	7	27	23
第9回	20	7	20	5	6	7	0	30	17	4	10	19
第10回	29	21	31	28	9	10	0	55	29	4	0	19
第11回	29	20	36	16	8	40	0	69	25	4	0	21
第12回	25	5	24	15	6	8	0	34	14	2	0	20
第13回	24	15	47	30	6	5	0	31	22	4	0	17
第14回	21	9	29	14	6	2	0	31	18	3	0	20
第15回	19	12	33	37	4	19	4	53	19	8	0	18
第16回	25	22	44	74	18	36	1	44	23	6	0	22
第17回	17	14	35	28	7	14	0	42	21	7	0	21

# 職種別参加者の推移(第15回～17回)



# 職種別参加者の推移 (医師・歯科医師・薬剤師の状況)



# 第18回多職種連携研修会の案内

それぞれの役割を理解して、連携の質を高めよう！

平成30年度 第18回多職種連携研修会

## がん患者の終末期緩和ケア ～多職種連携の課題を考える～

日 時：平成31年1月24日（木）19：15～21：00

場 所：茅ヶ崎市役所分庁舎6階コミュニティホール （年間チラシと場所を変更しています）

対象者：医療福祉介護に携わる専門職の方々（ヘルパーや通所スタッフも含む）

座長 藤浪 潔 医師（茅ヶ崎市立病院 中央診療部長）

第1部

19:20～19:35 事例報告

「がん終末期緩和ケアにおける多職種連携」

講師：引野 雅子 医師

（ひきのクリニック院長）



【内容】

がん患者の終末期緩和ケアの実際について講師の体験から報告して頂きます。

第2部

19:35～21:00 グループワーク

- 1) 課題の検討
- 2) グループ発表



【内容】

日頃感じている多職種と連携していく上での課題を持ち寄って頂きながら、現状の共通認識を図ります。また、グループワークを通して、ネットワークを深化（進化）していきます。

主催：茅ヶ崎市保健所 地域保健課 在宅ケア相談窓口

共催：一般社団法人茅ヶ崎医師会

団体：一般社団法人茅ヶ崎歯科医師会

一般社団法人茅ヶ崎寒川薬剤師会

一般社団法人茅ヶ崎介護サービス事業者連絡協議会

【注意事項】

- \*受講された方には修了証書を交付いたします。
- \*受講するには申し込みが必要です。

問合せ

在宅ケア相談窓口 電話：0467-38-3319

FAX：0467-82-0501

メール：hokenjyo\_chiiki@city.chigasaki.kanagawa.jp



# 地区別多職種連携研修会(寒川地区)の案内

茅ヶ崎市・寒川町 在宅医療介護連携推進事業



## 寒川地区 多職種連携研修会

「高座」の「こころ」

みんなで語ろう  
寒川の底力!!

対象は寒川町在勤の医療福祉介護に携わる専門職の方々(4名・や通所29名含む)ですが、茅ヶ崎市の専門職も参加可能です。

「地区別の研修会を開催して欲しい!」という声に応えて、寒川町で開催することになりました!!是非、ご参加下さい!

2月頃開催予定

時間：19:00~20:30  
会場：寒川町

【注意事項】

- \*受講するには申し込みが必要です。
- \*後日録音の配布はございません。

【主催】寒川町・茅ヶ崎市  
【お問合せ】茅ヶ崎市保健所在宅ケア相談窓口

電話：0467-38-3319  
FAX：0467-82-0501  
E-mail：hokenryo\_chikihoken@city.chigasaki.kanagawa.jp

